

2024年12月24日

各位

会社名 株式会社ユーラシア旅行社
代表者名 代表取締役CEO（会長） 井上利男
（コード番号 9376 スタンド市場）
問合せ先 取締役CFO 杉浦康晴
（電話番号 03（3265）1691）

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年12月24日に「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」を、また2022年12月23日及び2023年12月25日には「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について」を提出し、その内容について開示しております。2024年9月末時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

記

○当社の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

当社の2024年9月末時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況はその推移を含め、下表のとおりとなっており、流通株式時価総額については基準を充たしておりません。当社は、流通株式時価総額に関して、基準を充たすため、引き続き各種取組を進めてまいります。

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の適合状況及びその推移	2021年6月末現在	1,888名	12,287単位	6.7億円	33.3%
	2022年9月末現在	1,792名	11,875単位	5.3億円	32.1%
	2023年9月末現在	1,616名	11,529単位	5.2億円	31.2%
	2024年9月末現在	1,619名	11,886単位	5.9億円	32.2%
上場維持基準		400名	2,000単位	10億円	25%
計画期間				2025年9月30日まで	

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

○上場維持基準の適合に向けた取組の実施状況及び評価（2021年12月～2024年9月）

（1）流通株式時価総額について

旅行事業の収益改善について

2023年5月8日に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に分類される等、新型コロナウイルス感染症を原因とした海外団体旅行催行の制約は概ね解消されました。海外団体旅行催行の環境が改善されるに従い売上高も回復し、2022年9月期の売上502百万円、2023年9月期の売上2,945百万円に対し、2024年9月期の売上は4,598百万円となりました。これは、新型コロナウイルス感染拡大の影響のなかった2019年9月期の5,727百万円に対し80.3%の水準であります。なお、2025年9月期の売上高については、5,200百万円を見込んでおります。

海外旅行売上の改善に伴い、2023年9月期の親会社株主に帰属する当期純損失55百万円から、2024年9月期には親会社株主に帰属する当期純利益120百万円へと黒字転換を果たしました。なお、2025年9月期の親会社株主に帰属する当期純利益は、積極的な人材採用と広告宣伝の拡大を計画することから110百万円と見込んでおります。

このように経営環境、業績共に改善しておりますが、流通株式時価総額の基準を満たすに至っておりません。

費用削減活動について

当社は、新型コロナウイルス感染拡大に対処するため、一般管理費の削減を図ってまいりました。具体的には、新型コロナウイルス感染拡大の影響のない2019年9月期と比較し、2024年9月期は、広告宣伝費を50.0%（2023年9月期は38.7%、2022年9月期は16.2%、2021年9月期は13.1%）にコントロール、人件費を77.6%（2023年9月期は69.4%、2022年9月期は64.2%、2021年9月期は73.6%）に抑制いたしました。今後もこれまで通り、費用の削減額のみならず支出の効果についても継続的に見直しを図ることは勿論、新型コロナウイルス感染症の影響を概ね脱したことから、広告宣伝の姿勢を守りから攻めに転換させ、また積極的に人材採用を図ることで、合理性と収益性をともに追求し、企業価値の向上を目指してまいります。

当社株式の魅力の発信について

新型コロナウイルス感染拡大以降、雇用調整助成金を受給する環境下において社内留保を優先し無配を続けてまいりました。2024年9月期においては黒字に転換し、中間配当から復配を果たすことができました。期末においても、当初公表した配当予想額から2円増配し、年間12円の配当を行うことができました。なお2025年9月期においては、年間14円の配当を予定しております。

これにともない、投資家へ当社株式の魅力発信を再開できる状況になりました。今後は当社株式、とりわけ配当利回りの魅力を投資家に発信してまいります。

表 配当利回り (※1)

	2016年 9月	2017年 9月	2018年 9月	2019年 9月	2020年9月～ 2023年9月	2024年 9月	2025年 9月
配当利回り	4.48%	3.89%	3.92%	4.29%	－%	2.40%	(※2)
一株当たり年 間配当額(円)	22	22	22	22	－	12	14 (※3)

(※1) 一株当たり年間配当額/期末株価

(※2) 2025年9月末時点の配当利回りは本報告書作成時点では不明

(※3) 2025年9月期の一株当たり年間配当額は見込

IR の取組強化について

当社 WEB サイトにおいてそれまで掲示しておりませんでした有価証券報告書、四半期報告書を掲示し(2022年9月期)、投資家に対する情報発信を補強いたしました。また、法令の改正に対応し、株主総会事項について3つの WEB サイトを用い電子提供措置を開始しております(2023年9月期)。

評価について

2024年9月末時点におきましては、上記の施策を講じるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を脱し、経営の舵を攻めに転じつつあるものの、流通株式時価総額基準を達成するには至っておりません。

○上場維持基準に適合していない項目ごとのこれまでの状況を踏まえた今後の課題と取組内容

(1) 流通株式時価総額について

【課題】

流通株式時価総額の基準適合に向けての課題は、株価の低迷にあると認識しております。当社といたしましては、企業価値を向上させることが株価上昇につながるものと考えております。

なお、株価以外に流通株式時価総額に影響を与える流通株式数ないし流通株式比率に対する施策については、検討を重ねておりますものの現時点において公表できるものはございません。今後の状況に応じて、計画期間である2025年9月までに対応策を講ずる可能性があります。開示すべき事項を決定した際には速やかにお知らせいたします。

【取組内容】

2021年12月24日公表の計画における取組を着実に実行することで流通株式時価総額の基準適合を実現してまいります。

すなわち、旅行事業の一層の収益改善により企業価値向上を目指してまいります。

また、2024年9月期には旅行事業の環境改善及びそれにもなう収益改善により、復配を果たしておりますが。今後も配当額を増加する等、一層資本コストを意識することで、当社株式の魅力向上を目指してまいります。

加えて、当社の配当利回りの魅力を投資家に発信してまいります。

以上の取組を通じて企業価値を向上させるとともに、投資家に当社の企業価値を知っていただくことが、株価上昇ひいては流通株式時価総額の上昇につながるものと考えております。

以上